学校番号	1004

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理講読	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・資料の講読を通じて、主に日本の思想・宗教について基本的なことを理解し、知識・教養を身につけよう。
・単に丸暗記するのではなく、歴史的背景や社会の仕組みと関連づけて主体的に学び、物事を深く考える力を伸ばそう。
・学んだ知識をもとに、日本社会における諸課題について分析・考察し、自分の考えを持てるようになろう。また、言葉や文章で自分の意見・考えを表明できるようにしよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　倫理の時間で学ぶことのできない「人間性の特質・青年期」「日本思想」の範囲を学び受験に対応するとともに、自主的に生きる力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に思考し、自らの世界観・価値観を形成することをめざす。
【学びに向かう力、人間性等】
資料の講読を通して、学びに向かう力、人間性などを養い、主体的に考える力を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	「人間とは何か」、「私何者か」「人間社会は如何にあるべきか」という根源的なテーマについて関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的な意欲を持つと同時に、人間や社会にかかわる現代の諸課題を探求する態度を身につけ、人間としての在り方や生き方について自覚を深める。	現代社会を生きる主体としての自己の確立について広い視野で諸課題を見出し、人間の存在や意義などについて多面的・多角的に考察・探求すると共に、人間尊重の精神に基づく、良識ある公民として、広い視野から主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を適切に言語化し表現する。	青年期における自己形成や間としての在り方・生き方などにかかわる基本的な事柄を、現代社会を生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現代を生きる自己の課題	・人間と社会との根源的なかかわりを理解する ・青年期の意義を理解し、自己理解を深めて豊かな自己実現のために身に着けるべき規範を考える。	a:人間存在の特性を心理学的な手法を用いることで関心を高め、自己理解を深めて豊かな自己実現を図ろうとする態度を身につける。 b:パーソナリティの確立などについて、具体例を通して考えさせ、客観的に青年期の課題であるアイデンティティ確立の重要性を把握する。 c：資料を読み解き、思想の変遷を表などにまとめ、発表することでより理解を深めていく。	定期テスト	定期テスト	論文課題
	・日本の風土・仏教と儒学の受容と土着化	・日本の風土を民俗学的に考察し、自然信仰から記紀神話的多神教への変容を理解する ・仏教および儒学の受容について理解し、外来思想がいかに日本に土着化したのかを考察する	a:日本思想の重層性について考察すると共に、現代に生きる日本人の宗教観や倫理観についての公正な理解を深める。 b:仏教・儒教が日本の政治や社会・文化に及ぼした影響について歴史的背景と共に深く考察することで広い視野をもつ。 c:資料を読み解き、思想の変遷を表などにまとめ、発表することでより理解を深めていく。	定期テスト	定期テスト	論文課題
二学期	・国学と庶民の思想・近代思想の受容	・日本独自の思想の再評価および庶民の生活から生まれた思想を理解する。 ・民権思想、キリスト教、社会主義などの受容、ならびに国家主義の伸長について考察する。	a:仏教・儒教を受容した日本人が、日本独自の思想文化に着目する過程を考察するとともに、開国に伴い流入した西洋思想の受容について学ぶ。 b:江戸後期～明治期の思想が、今日の日本思想に与えた影響を考察する。 c:資料を読み解き、思想の変遷を表などにまとめ、発表することでより理解を深めていく。	定期テスト	定期テスト	論文課題

	・近代的自我の確立	・それらの思想を咀嚼吸収した近代的日本思想の意義を理解し、大戦を経て現代へとつながる思想潮流を確認する。	a:近代的自我に着目し、文学者や思想家らが獲得した自我の姿を読み解く。 b:日本人が獲得した近代的自我と、西洋思想のものとを比較考察する c: 資料を読み解き、思想の変遷を表などにまとめ、発表することでより理解を深めていく。	定期テスト	定期テスト	論文課題
三学期	問題演習	・受験に向けて、近年のセンター試験や共通テストの問題を、上記の単元毎に再構成したプリントを配布する。その問題演習と解説を通して、知識の再確認を行う。	a:b:c:ともに演習に取り組む	定期テスト	定期テスト	論文課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度